

美浜町運動公園整備事業に関する住民説明会記録

日 時	令和2年1月13日（月）19：00～20：35
場 所	野間公民館（柿並）
出席者	説明者 齋藤町長、永田副町長、山本教育長、杉本総務部長、石川産業建設部長、八谷厚生部長、天木教育部長 夏目総務課長、宮原都市整備課長 参加者：約68名
内 容	

事業の経緯・概要説明 都市整備課長 15分間 資料による

町長の経過説明 町長30分間

運動公園は、H27から進められた。私はH29.4に町がやることを知った。それまで大学がやることと思っていた。

神谷町長の2年目に話をしたが、どんどん進めてきた。住民説明は、H30.11町政懇談会で町民から色々な声が出てきた。

我々の周りからも心配だという声が出て「美浜町民の幸せと将来を考える会」を立ち上げ、勉強し折込チラシで報告した。

H31.4立候補し、町民の判断を得るための選挙にしようと思い、結果が僅差でこういう結果になった。

それから、これまでの職員の検討結果を勉強した。少しでも早くいい結論を出したいと思い、県や国の考えも確認した。

解ったことは、区画整理ができないということ。

当地区は、H3町長の時から区画整理によるまちづくりをやりたいと思っていたが、できなかった。その後は圃場整備で駅前を含んだ形でやることを提案したがまとまらなかった。10年経てば市街化区域に入れることができると思っていた。

この地区で、区画整理ができるか、公園を中止できるか。

公園事業を中止した場合は、交付金と借金を返還する必要がある、町営の区画整理もできないことが分かった。しかし、駅前の民間開発は可能ということで、8億円で土地を買って開発するという提案があり力を借りようと思った。

しかし、事業を転換する前に中止に伴う返還金の支払いが生じ、現在の財政状況では火葬場やごみ処理場の分担金もあり、来年度以降の予算編成が厳しい。

検討した結果、結局事業は止められず進めるしかないため、住民投票条例も廃止した。

議会多数派とも相談しながら、よりいい形でこれから進めよう、どれだけ予算を下げられるかとお互い納得しながら今を迎えている。

そのことを住民に伝えないといけない。中止という公約を守れないお詫びをし、これからどういう形にしていくか職員と議員で進めていくのが実情。一番皆様に納得してもらえる運動公園を目指すため、日福大にも相談に行った。

日福大は大きな夢を持っている。町の職員体制では3種競技場は運営できない。これまで職員は、一部2種仕様の3種競技場を計画してきた。造る以上は多くの人に使用してもらえるものを造りたい。議会とも検討しながら省くものも検討しコストを下げる。また、大会を呼び寄せるために大学のノウハウを借りる。学校からも努力するとので返事をもらっている。

美浜町の現状で一番やらないといけないのは学校問題。少子高齢化が進んでいる。いかに早く小中一貫校の学校整備が必要で教育委員会と協議している。

運動公園よりも先に計画のあった総合公園の拡張整備計画で第2グラウンドの代替を持ってくる。図書館、体育館もあり防災拠点でもあるので、学校も持って来る構想を考えている。

第2に観光。空港・リニアによりこの地域を磨くこと。職員にはっぱをかけている。

お詫びしたいのは、支持いただいたが止めることができなかったことについて心からお詫びします。

皆さんの意見をいただきまちづくりを進める。

(総務部長補足説明)

町財政は、70～80億円の予算で推移している。町税収入30億円と行財政改革で運営している。

運動公園を中止すると、補助金と起債で6億円の返還を要すが、財政調整基金が5億円しかなく今後の財政運営ができないため、町長の政策変更により運動公園事業が継続となった。

質疑応答（・質問 ⇒町回答）

女性1

・区画整理が町営でも民間でもできなかったという説明でした。新聞でも勉強不足とあったが町長経験者が今回初めて知ったのか、こういうことを考えずに立候補したのか。

⇒法律専門家ではないので、職員に聴いて分かった。

土地の売買に時間がかかることも分かった。

・勉強不足で立候補したのですね。少しずつ勉強して今になって分かったことについてどう思っているのか。初心に立ち返って公約違反なので、辞任すべきではないか。はっきりと辞任していただきたいと申し上げる。

⇒これからもいい町を造りたい。辞めるのは簡単。投げ出してまた選挙をやるのか、皆さんがそういう思いか。

男性1

・R5に完成したら周辺の道路（国道から駅）も整備されるのか。予算はどうか。

⇒町道森越石坂平井線は、これまで用地買収で拡幅を部分的に行ってきた。今年度も未買収を交渉していく。駅から農免道路は運動公園区域内のため付け替え工事を行っていく。

河川の件も一部運動公園の区間はやってもらえる話になっている。下流については新年挨拶で河川課にお願いしてきた。河川改修も努力していく。

男性2

・貯留槽の設置は上水か。

⇒耐震性貯水槽は、飲料のためのもので上水道管を接続する。

・調整池は地下に造るのか。

⇒調整池は、雨水が河川に流す量を調整するための池で、当初計画では掘り込み式であったが有効な土地利用のためフィールドや広場の地下に貯留する。左岸側は広場の表面で調整する方式も取る。

・建物の地下には貯留しないか。

⇒建物の地下には設置しない。

男性3

・事業計画のように進めてもらえば素晴らしいものができる。町長からもどうせやるなら素晴らしいものをとという言葉いただいた。

コストカットはいいけれど補助金も減ることにならないか。

- ⇒目的があつて施設を計画しているのでコストカットは簡単ではないが、舗装等を後の維持管理も考慮し一部仕様を見直す等の検討はできる。
- ・継続に舵を切ってくれてありがとうございます。

質問が途切れたため、

(教育長から学校再編説明)

子供の数が激減している。河和南部小を始め各学校で単学級化が進むため小中一貫校の設置を検討している。目標はR7年度で財政的に難しいものの野間中が単学級化するR10までには実現したいというのが教育委員会の思い。

再開

男性4

- ・私は齋藤町長を応援してきた。これからも信じて応援していく。どの程度のコスト削減、縮小をするのか。
- ⇒これからの検討であるが、陸上競技場の規模縮小は難しい。交流人口獲得のため、公認獲得のため、他の施設について縮減できるものは検討していく。今後維持管理も含めて考えていきたい。

女性1

- ・中止できなかつたのだから辞めるべき。政界から引退する気はないのか。
- ⇒責任放棄はできない。運動公園だけではない。美浜のためにやらなければいけないことが多い。
- 皆さんのご意見は心に留めておく。

男性5

- ・今後説明する際には、一部2種仕様の3種競技場と説明してほしい。
- ⇒公認は3種であるが、施設としては一部2種仕様となっている。障害競走の水壕等である。

男性6

- ・初めに謝罪すべきだ。町長はどういうことで当選したのか。学校を造る前にもっと少子化対策をすべきでは。
- ⇒心からお詫びします。
- 人口の問題は、若い方に住んでいただくために職員ともども考えている。もっと前向きに取り組んでいきたい。

男性3

- ・検討に時間をかけずに迅速に進めてほしい。早くできれば早く効果が出る。

男性7

- ・これまで町長は8回のピラにより運動公園の負の部分ばかりをPRしてきた。これからは進めていくのでメリット部分をアピールしてほしい。
- 野間地区は旅館が多く期待している。
- 町民に向けてプラスの面を発信してほしい。
- ⇒やる以上は、職員が説明してきたような成果が出るような進め方をするのが責任だ。大学の協力もいただき美浜に来てもらえることが大事。経済効果が出なかったら大変。約束したようにやるよう激励してください。
- 多くの人が心配したから私は提案しただけであつてこれからは乗り越えていくしかない。

(厚生部長事業説明)

民生費が増加し町財政を圧迫している。また、ごみ処理場と火葬場で多くの経費がかかる。今後ごみの削減のため協力を願う。

高齢者医療が増加している。

歳入確保が必要で、将来的にも日福大が在ることの税収等を継続して確保するためにも運動公園整備事業は必要。